

だんじりは
共通語





地域の伝統行事と地域活動

東灘区 各自治会等地域団体

幼少期に「だんじり」に参加すると

中高生には「地域活動」にも参加し、

大人になると、地域の担い手になる。

一口メモ

東灘区には、32基のだんじりとその保存・振興を担う団体があり、ご年配の方がその団体の長です。だんじりの引手は20代から50代が中心ですが、中・高校生もだんじり囃子や踊り手で参加するなど、だんじりは3～4世代が関わる地域の伝統行事です。

一方、幼稚園や保育所で、こどもだんじりを学んだり、小学校でも上級生が下級生にだんじり囃子を指導したり、これらの成果を地域行事で披露するなど、地域の伝統行事が幼少期から継承されています。

この子どもたちが中・高校生になるとだんじりだけでなく、夜警や見守り等の地域活動にも参加しています。さらに、大人になっても、青年会や消防団への加入、青少協の支部員への就任、最終的に自治会などの地域団体の役員としても活躍されています。



防災は楽しく美味しく





「楽しそう」という企画を考えると、きっかけが生まれる

東灘区 東灘区まちづくり課

重苦しくなりそうな防災訓練で

楽しく取組める企画の工夫をすると

多世代が集まり、繋がりが生まれた

一口メモ

平成 28 年度、東灘区まちづくり課では「防災」をテーマとしたマンションセミナーを開催しました。

その中で防災訓練を実施しましたが、普通に行うとどうしても重苦しい雰囲気になるのではないかと懸念していました。

そこで「楽しそう」と興味を持ってもらい、多くの人に集まってもらうため、「防災お菓子ポシェット作り」を行いました。子ども達が大好きなお菓子 [日持ちがするもの] を、いざという時の備えに、お母さん・お父さんと一緒に作ったポシェットに入れて保存します。

子ども達が楽しく防災の取組を行ったことで、お母さん・お父さんも集まり、さらに地域の大人達のつながりを広めていくきっかけとなりました。



責任感が行動力になる





責任を持たせて仕事を任せることで、地域活動の当事者意識が高まる

兵庫県 中道ふれあいのまちづくり協議会・川池ふれあいのまちづくり協議会

PTAの役員や経験者に

責任を持たせて仕事を任せると

充実感から地域活動への意識UPへ

一口メモ

中道地区ふれあいのまちづくり協議会と川池ふれあいのまちづくり協議会は、活動範囲が1つの小中学校区でまとまっているため、学校という核となる存在を通じて非常に良好な連携関係にあり、「会下山Waiwai夏祭り」や地域の「ふれあい運動会」などのイベントを青少年育成協議会などとも合同で実施しています。

イベントでは、主にPTAの役員や経験者に、運営や出店ブースの世話など、ある程度責任を持たせて仕事を任せています。その結果、スタッフとして大変だけれどもやりがいや充実感を体験してもらうことで、地域活動への意識を高めています。

また、イベント終了後は、必ずスタッフ全員に声をかけ、気軽な打ち上げを行い、交流と親睦を深めています。



子ども用品で釣る





子ども用品フリーマーケットを通じて子育て世帯の輪を広げよう

北区 泉台ふれあいのまちづくり協議会

子育てが始まる・終わる方々に

子ども用品のフリマを継続開催すると

他の子育て・地域の行事に参加する

一口メモ

※子育てサロンは、児童館では第1・3金曜日、地域福祉センターでは第2・4金曜日に開催しています。

泉台ふれあいのまちづくり協議会では、平成24年1月から年に2回、リサイクルフリーマーケット「子ども用品限定@たすけ愛・はぴエコマーケット」を泉台児童館で開催しています。出品者はブース代もお店番も不要で、出品物に登録番号と値札をつけるだけで気軽に出品でき、売上金も100%渡される仕組みです。

新しく子育て世帯になる方は購入者として、子育てを終えた方は出品者として参加しています。

これをきっかけに、子育てサロンに参加する方もいるなど、ほかの地域行事に参加するきっかけとなっています。



子どもは磁石





子ども向けイベントで、保護者を呼び込む

須磨区 高尾台・水野町地区まちづくり協議会

子ども向けイベントを、

ほぼ毎月、開催すると、

保護者がイベントの担い手となる。

一口メモ

高尾台・水野町地区まちづくり協議会では、ほぼ毎月のように子ども向けのイベントを開催しています。

例えば、季節感のあるキャンプやハロウィンなどのイベントや、幅広い学年の子どもたちが楽しめるようなイベントを地域で企画して頻繁に行いました。

その結果、参加者の方々がお互い顔の見える関係になり、保護者を中心にイベントの企画・運営を担ってくれる方が増加しました。

今後はイベントだけでなく、現在、取組みを進めている「高尾台・水野町地区まちづくり構想」の実現に向けた、まちづくりの担い手としても参画してもらえることを目指しています。



中学生が未来を奏でる





地域イベントを通じた地元中学生の地域愛着度強化+α

須磨区 北須磨団地自治会

地域行事で地元の中学生に

様々な出番や手伝いをお願いすると

親世代の地域活動の理解に繋がる

一口メモ

北須磨団地自治会では、地域のイベントに友が丘中学校の生徒さんにお手伝いをお願いしています。

毎年5月の友愛まつりのオープニングではプラスバンド部に演奏してもらい、華やかさを演出するとともに、そのお礼に屋台で使えるチケットを渡し、楽しんでもらうなど、まつりの賑わいに繋がっています。また、盆踊り大会や餅つき大会など、中学生ともなれば、とても頼りになる存在です。

中学生の地域イベントの参加は、人手の確保はもちろん、中学生が地域の愛着を感じることで、親世代の地域活動への理解に繋がっています。



大学サークルと繋がるろう





大学生の得意分野を活かした地域ボランティア参加

須磨区 NPO「輝たかくら台」

ふれあい給食で、大学生に

得意分野を活かし、協力してもらおうと

内容が豊富になり参加者も増えた

一口メモ

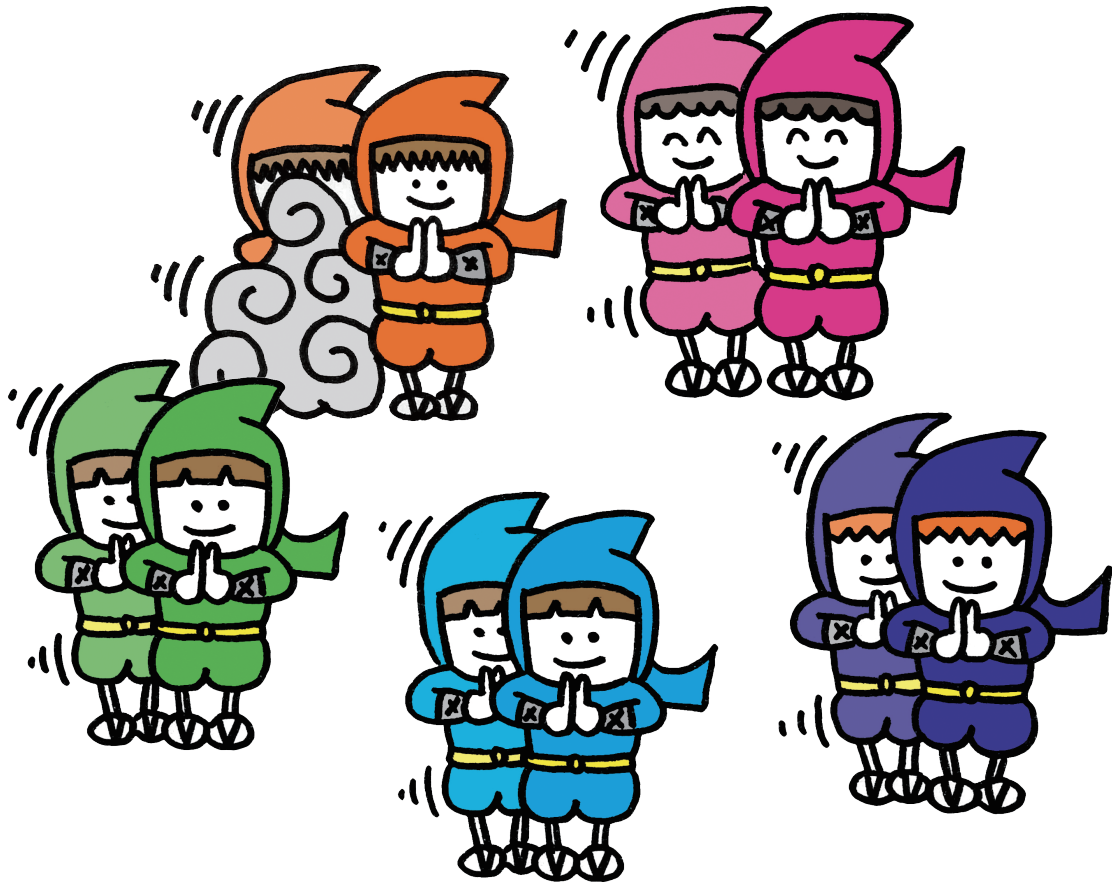
高倉台地区では 65 歳以上の一人暮らしの方を対象に、毎月 1 回ふれあい給食を実施しています。ここでは、近隣の神戸女子大学にボランティアで参加してもらっています。

ふれあい給食当日は、管理栄養士養成課程の学生が中心のサークルには配膳などのお手伝いを、コーラス部や箏曲、ダンス同好会などにはそれぞれの演目の披露を、茶道部にはお茶席の設けてもらうなど、それぞれの得意分野を活かしてもらい、地域でご参加いただく方の楽しみとなっています。

大学生に参加してもらうことで、イベントの内容に広がりができ、地域での参加の輪も広がっています。



忍法増員の術!!





ママ友と一緒にあれば、地域活動に参加しやすい。

垂水区 名谷ふれあいのまちづくり協議会

若いお母さん達が地域行事に

友達同士で参加できるようにすると

活動に協力してくる人が増えた

一口メモ

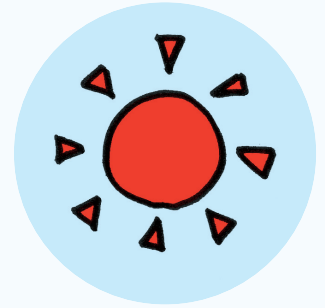
名谷ふれあいのまちづくり協議会では、若いお母さんたちがイベントなどの地域行事に参加しやすくするために、友達同士誘い合ってグループで活動できるようにしました。

一人では参加する勇気が出なくても、「ママ友と一緒になら!」と活動に協力して下さる方が増えています。

今後は、お試してグループ参加する中で、既存メンバーとも顔見知りになり、一人でも気軽に参加する方が増えてくれるよう期待しています。



まち歩きにお題を!





企画段階から地域ぐるみで考える

垂水区 東垂水地区まちづくり推進会

「まち歩き」のイベントについて

広報・企画など様々な工夫をすると

地域活動に関心を持つ人が増えた

一口メモ

東垂水地区まちづくり推進会では、まちの「いいところ」や「わるいところ」を歩いて見つけようと「わがまちウォーク」を年2回実施しています。

より多くの参加者を募るために広報を広く行い、違う目で色々な角度からまちを見てもらうため、みんなで話し合い、テーマとコースを変えるなどの工夫をしています。

さらに、参加者を募りワークショップで話し合った結果、これまでとは違った地域を見て回るわがまちウォークとなりました。

このイベントを入りに、どこにどのような地域課題があるのか、多くの人で話し合うことで、地域への関心を持つ人が増え、その後定例会に参加する方も出てきました。

